

I. 調査結果概要

調査・各項目のデータは、加盟組合が記載したものを掲載しています。回収数、組織・地域のアンバランスなどがありますが、比較データとしてご活用頂き、賃金・労働条件改善の一助になればと思います。(数値の単位は「円」です。)

1. 平均賃金

全体の平均賃金（基本給、所定内賃金）は、下記（１）のとおりです。平均勤続年数は、「正職員」10.4年、「医師除く」11.2年です。また、平均年齢は「正職員」が40.0歳、「医師除く」が39.6歳です。同一組合の平均賃金の比較（２）（３）では、同一組合の対象数にばらつきがあるため、参考数字としての扱いとなります。

（１）全体平均

	<正職員>		<医師除く正職員>	
	16春闘確定前	16春闘確定後	16春闘確定前	16春闘確定後
基本給	285,541	285,260	261,342	259,286
所定内	322,551	322,069	292,820	290,089

（２）同一組合平均の比較（正職員）

	基本給（48組合）	所定内（40組合）
16春闘確定後	283,425	323,247
16春闘確定前	285,513	323,962
差	-2,088	-715

（３）同一組合平均の比較（医師除く正職員）

	基本給（64組合）	所定内（40組合）
16春闘確定後	261,259	293,238
16春闘確定前	259,878	295,154
差	1,381	-1,915

2. モデル・ポイント賃金

モデル・ポイント賃金の平均は、下記の一覧表（1）です。全体的にほぼ前年並みです。59歳のモデル賃金の項目を今年から追加しました。50歳から59歳の伸びは概ね5～6%です。国家資格の専門職がほとんどにもかかわらず「低い初任給」と「ねたきり賃金」になっています。

（1）モデル・ポイント賃金の平均

	初任給	35歳	50歳	59歳
医師	319,356	533,643	730,305	769,039
薬剤師（6卒）	219,890	292,764	377,370	399,537
薬剤師（4卒）	206,644	291,130	374,080	399,528
看護師	199,654	278,761	356,813	375,461
准看護師	174,257	257,635	328,515	345,953
看護補助者・助手	152,774	237,341	296,478	315,675
放射線技師	189,208	277,231	362,220	386,019
臨床検査技師	186,605	273,352	356,304	382,844
理学療法士	190,968	276,257	356,279	377,578
作業療法士	191,120	275,158	354,589	377,397
臨床工学技士	186,856	274,513	356,944	378,532
言語聴覚士	190,942	275,527	355,538	375,512
臨床心理士	195,471	268,855	350,255	376,003
歯科衛生士	176,552	260,761	331,854	350,698
歯科技工士	176,904	269,555	346,262	366,993
管理栄養士	185,118	266,357	343,798	366,445
栄養士	173,595	261,013	337,787	358,760
調理師	159,137	246,220	312,783	336,356
保育士	168,892	254,708	320,574	336,176
介護福祉士	164,669	242,389	304,429	322,386
ヘルパー	156,524	231,314	288,927	306,868
大卒事務	180,429	258,583	337,929	355,505
高卒事務	156,173	249,746	321,520	341,973
労務	150,526	239,867	300,451	316,783

(2) 同一組合による看護師・介護福祉士の前年度平均との比較

介護福祉士・看護師・高卒事務で比較を行っています。介護福祉士については、「初任給」で前年比-74円、「35歳」で-14円、「50歳」で+407円となっています。

看護師については「初任給」で109円上がりましたが「35歳」「50歳給」で-333円、-849円となっています。

高卒事務についても、「初任給」は395円、「35歳」で472円上がったものの、「50歳」は-695円となっています。

介護福祉士		初任給	35歳	50歳
2015年度	全体平均	165,495	243,601	305,177
2016年度	全体平均	165,421	243,587	305,584
前年差		-74	-14	407

看護師		初任給	35歳	50歳
2015年度	全体平均	200,204	281,122	360,678
2016年度	全体平均	200,314	280,790	359,830
前年差		109	-333	-849

高卒事務		初任給	35歳	50歳
2015年度	全体平均	155,918	250,908	324,426
2016年度	全体平均	156,313	251,380	323,731
前年差		395	472	-695

3. 最賃協定額

最賃協定額の平均は、下記(1)のとおりです。月額を見ると昨年調査より全体的に下がっています。「准看護師」「ヘルパー」「誰でも」の時間額は若干上がりましたが、「看護師」については、月額、日額、時間額のすべてで昨年よりも下がりました。

最賃協定額の「最高」と「最小」の差は引き続き大きく、看護師月額の格差は約8万円、時間額でも950円もの格差にひろがっています。

(1) 最賃協定額の平均

	月額	日額	時間額
看護師	197,009	8,979	1,211
准看護師	165,521	7,744	1,071
ヘルパー	151,317	6,949	916
誰でも	149,847	6,526	876

(2) 最賃協定額の最高と最低の差（看護師・誰でもの場合）

看護師	月額	日額	時間額
最高	230,000	10,992	1,800
最小	150,500	7,336	850
差	79,500	3,656	950

誰でも	月額	日額	時間額
最高	180,000	8,280	1,096
最小	125,500	5,400	720
差	74,500	2,880	376

4. パートの賃金

パートの時間額平均は、以下の通りです。地域や病院性格別の差が大きく、「最高」と「最小」では2倍を超える格差となっている職種が多くみられます。看護師では3倍近い格差です。一時金の支給基準については、「経験で支給」「正職員と別基準」が圧倒的になっています。

	看護師	准看護師	事務部門	給食部門	介護福祉士	ヘルパー
平均	1,250	1,122	904	920	948	906
最高	2,400	2,000	1,443	1,634	1,530	1,290
中位	1,203	1,100	870	873	937	870
最小	850	800	725	750	750	725

5. 退職金

(1) 算定基礎 「集計表」を参照下さい。

(2) 退職金支給開始時期と支給月数

支給開始時期は平均で就職後 2.8 年、支給月数は 2.4 か月でした。

(3) 退職金支給月数

定年年齢に一番近い「40 年」で見ると、「希望（自己）退職」で平均 45.7 ヶ月、「定年退職」で平均 47.8 ヶ月です。全体の最高 65.0 ヶ月、中位でも 49.6 ヶ月と差があり、組合間格差がかなりあります。

(4) モデル退職金

看護師のモデル退職金は下記のとおりです。支給額の最高と最小では大きな格差があり、病院性格別では、公的地場や自治体が高く、民医連生協や福祉が低い実態です。

	月数	支給額
平均	47.9	17,733,118
最高	65.0	27,615,475
中位	49.2	17,557,521
最小	35.0	3,139,000

(5) パート・非常勤職員の退職金制度

制度が「ある」と答えたのは 21 組合であり、昨年とほぼ同数です。

以下については、集計表をご覧ください。

2013 年度から、各種手当（待機手当、手術室手当、透析手当、専門・認定看護手当、医師手当）の有無、年間一時金の項目を設けました。

6. 中途採用者の前歴加算

7. 早出手当

8. 遅出手当

9. 待機・呼出し手当

今年度新設した項目です。

10. 夜勤手当

11. 家族手当・住宅手当

12. 各種手当、年間一時金

13. 年間総労働時間

1日の労働時間では拘束8時間30分、実働7時間32分、休憩59分となりました。また1週間の労働時間は拘束43時間28分、実労働38時間33分です。年間総労働時間の平均は1869時間21分で、昨年よりも約16時間増えています。最も長い年間総労働時間は2163時間（昨年2232時間）で、昨年までの最高時間よりも70時間減りました。性格別では軒並み1800時間を超えています。

以下についても、集計表をご覧ください。

14. 36協定、夜勤協定

15. 年間休日

16. 週休の形態

「完全週休2日制」27.8%、「4週8休制」27.8%を合わせると55.6%と前年より0.6ポイント減少しました。

17. リフレッシュ休暇

18. 賃金・労働条件の改悪の動きについて

（1）職能給・成果主義賃金について（カッコ内は前年値）

回答のあった130組合中、「導入の動きはない」が81組合62.3%（68.1%）、「提案されている」「動きがある」13組合10.0%（9.7%）、「以前から導入されている」24組合18.5%（17.7%）となっています。「この1年間に導入された」も12組合9.2%（4.4%）と昨年の倍となっています。

（2）退職金の切り下げなどの動向（カッコ内は前年値）

回答のあった125組合中、「動きはない」82組合65.6%（63.0%）、「動きがある」7組合5.6%（8.3%）、「現在提案されている」7組合5.6%（0.9%）、「この1年に実施」「1年以前に実施」29組合23.2%（27.8%）となっています。切り下げの動きが強まっています。

19. 安全・衛生委員会の実態

- (1) 安全衛生委員会の設置については、「ある」が137組合中123組合89.8%（前年90.2%）となり、ほぼ横ばいです。
- (2) 委員会の構成については「労使ほぼ同数」が117組合中94組合（80.3%）、委員会の開催は「月1回定期的」が110組合中88組合（80.0%）となっています。
- (3) メンタルヘルス対策について「委員会で論議している」が119組合中110組合（92.4%）で、昨年（84.3%）よりも増えています。

20. ストレスチェック

あらたに調査項目として追加しました。ストレスチェックを122組合中65組合（53.3%）で実施されています。

以上